

フィリピンからの留学生 20 名来校

2月5日（金曜日）～2月7日（日曜日）の期間に、外務省が行う JENESYS プログラムの一環で、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）を通じ、フィリピンからの留学生 20 名のホームステイを受け入れました。留学生団体は2月5日（金曜日）の午前中に本校に到着し、歓迎の会として、グリーティングセレモニーを催しました。

【グリーティングセレモニーの様子】



- ・校長先生が留学生に英語で挨拶をし、留学生は熱心に聞き入っていました。

この期間の内、2月5日（金曜日）、2月6日（土曜日）の二日間に同留学生が本校の授業に参加しました。主に特進コース2年生と、啓明コース1年生の現代文、数学、生物、英語、家庭科といった様々な授業に参加し、本校の生徒たちと交流しながら楽しそうに学習していました。

【数学】



【生物】



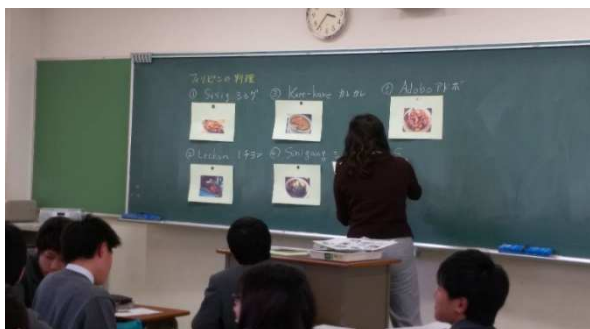
- ・数学の授業では、教員が英語を交えながら公式を説明し、その後留学生と本校の生徒が相談しあいながら、問題に取り組んでいた。留学生は年齢にばらつきがあったため習熟度段階が違うものの、数学の公式は世界共通であるため意思の疎通が図りやすい教科であると感じられました。
- ・生物の授業では、電子顕微鏡の映像をプロジェクタに映し、微細な生物や、様々な生物を見て学びました。皆興味深くプロジェクタの映像に見入っていました。

【英語】



・生徒は日ごろ学んでいる英語力を発揮しコミュニケーションをとっていました。

【家庭科】



・フィリピンの食文化について学び、留学生にフィリピンの食を紹介してもらいました。

また、特に土曜日の啓明コース1年のロングホームの時間では、生徒と留学生がそれぞれ自国の文化についてをパワーポイントを用いてプレゼン発表を行い、異文化に対する知識、理解を深めました。

【お互いの国についてのプレゼン発表】



・お互いの国の食文化や教育政策、生活についてなど、様々な視点からプレゼン発表を行い、互いの国について、自国との違いについてなどの理解を深め、意見交換をしました。

授業後、留学生は生徒の家にホームステイし、日本の観光地を紹介したり、家庭で日本の文化に触れるなどし、2月7日（日曜日）に帰国の途に就きました。この体験は、生徒の英語力向上や異文化交流、グローバルな視点を醸成する良い機会となりました。